

かわにし

広報かわにし

No.527

平成14年7月10日



咲いてます
いのちいっぱい

特集 里山を守ろう…2
真剣に考えよう合併について…4
あなたの話題 わたしのニュース…8

人口の動き	
—7月1日現在—	
男	4,039 (－3)
女	4,129 (－7)
計	8,168 (－10)
世帯数	2,284 (+1)
() は前月比較	

里山を守ろう

川西町を形づくるなだらかで美しい里山。この里山は雪や水を受けとめて平地に送り、人を受け入れて心をいやし、時には食料までも供給してくれる命の山ともいうべきものです。

しかし、一部の心ない人によるごみや廃棄物の投棄、山菜・山野草の乱獲などにより少しずつですが荒れてきています。「少しくらい」「ほかの人だって」という軽い気持ちで重なって乱獲や投棄を続けると、重大な環境汚染や山火事、種の減少・絶滅といった事態にもなりかねません。

その現状の一部をみてみます。

マナーが問題

毎年、山菜のシーズンになると、地域の人たちはもちろん、町外や県外の人たちが里山に押しかけます。

多くの人たちは、純粹に山を楽しむ山菜を味わうために訪れ

ているのですが、問題はそのマナーです。

「最近では、山に入る人も以前よりはごみを持ち帰るなどマナーが良くなってきていますが、中にはまだポイ捨ての人もいて、困っています。おっかねやんはタバコの吸い殻ですて」（仙田地区男性）など、まだまだ空き缶や弁当などの包み紙などを投げ捨てる行為が後を絶たず、タバコの吸い殻による小火の発生などもあるようです。

「あと、ひとの土地なのに、わが物顔でずけずけ入ってきて、あいさつひとつしね人も増えてきたの」と、礼儀の常識も後退してきているようです。

また千手地区の女性は、「毎年、山の上の畑に行くと、山菜

採りの人たちがたくさん来ていて道がふさがれていることがあります。他県ナンバーが多いですね。そのときは、山を楽しんで行くのは一向にかまわないけれど山を汚したり、邪魔になることだけはしないでほしいとお願いしています」と、農作業の妨げになることがあることを嘆いています。

自己防衛するところも

「県外ナンバーの車は、数人がまとまってきて、朝早くからしらみつぶしに山菜を採ってしまふので、あとかたもなくなってしまう

ます。中にはテントを張ってまで採りためている場合もあるようです。明らかに商売です」。

「最近ではそんなに多くはなくなりませんが、今でも山菜でそれなりの収入を得て生活の足しにしているところもあります。そういうところでは、部外者の入山を断る立て札を出していますが、効果のほどは疑問です」（仙田地区男性）と自己防衛手段を講じるところも出てきました。

実際、南魚沼や北魚沼では、山菜が農家の大きな収入源とな

っており、これを冒されることは死活問題にもなりかねない重大事で、禁を犯した場合は罰金を徴するところもあります。

長野県の高地で観光地を抱えているところでは、山菜採りの入山を一切禁じるチラシを広範囲に配布しているところもあります。高額な費用をかけても山を守ろうという意識の表れであり、事態がそれだけ深刻だということでもあります。

「田んぼの土手や、畑のそばに植えてあるものまで採られていくことがあります。分からないくて採っていかんだと思いますが、中には明らかに植えてあると分かるものまで根こそぎ持つて行かれることがあります。」（橘地区男性）

「山の畑に行ってみたら、四輪駆動車かなんかで荒れた畑や土道を走った跡があつて、大きなわだちができていました。そこに水がたまつていてバイクではUターンもできず、怖い思い



多くの看板が山道の要所要所にみられます



一度できた「車のわだち」はすぐには元にもどりません

をして下り坂を後ろ向きに戻ってきました。ほとほと困りました」(千手地区女性)と、悪質な行為もあるようです。

後を絶たない不法投棄

こうした、山菜採りや山での行動もそうですが、最も深刻なのがごみや廃棄物の投棄です。「缶やビニール袋などが投げ捨てられているという苦情がしょっちゅう寄せられます。山で

酒を飲んでもいいですが、ごみだけは持ち帰って欲しいです」(仙田地区女性)

「車に粗大ごみを満載してきてそこに捨てていき、帰りに山菜を山ほど積んで帰る例もあると聞いています」(上野地区男性)

こうなると、もう犯罪行為ですが、こうした状況をとらえて、町ではどういう対策を講じているのでしょうか。関係課に聞いてみました。

パトロールしています

農林課 シルバー人材センターに委託して「森林保全巡視事業」を行っています。町行造林地や保安林を中心に、森林保全や火災予防について様様な取り組みをしています。

内容としては、山火事防止や、町外者の入山禁止、危険作業道への車両通行禁止などの看板を立てたり、鎖による通行規制などを行っています。

また、巡視活動も行っており、二人一組で定期的に町内の山林をまわっています。人が山に入る四月から七月の土日祝祭日(ゴールデンウィークは毎日)を中心に、早朝から夕方まで巡視活動をしています。山菜採りをしている人たちに森林保護や



山火事防止、ごみの持ち帰りを促すチラシを配布して注意を呼びかけています。

また、もし火入れをしている人がいたら、その許可があるのかどうかを質したり、貴重な山林資源、特に町の花であるヤマユリを採っている人がいたら、採らないように注意をしたりしてもらっています。風水害による土砂崩れや樹木の倒壊などの発見も重要な任務です。

ごみの不法投棄についても、そういう行為を見つけたらもちろん注意しますし、既に投棄されているものを発見した場合は連絡・報告してもらっています。ただ、巡視員さんの数は限られていますし山は広いので、なかなか問題行為の現場に合致することは少ないようです。ごみの不法投棄の報告が多いというのが実状です。

環境整備課 不法投棄監視員のみなさんから定期的に地域をまわってもらっています。

その結果を報告してもらうことはもちろんですが、悪質なものは当局に通報してもらっています。

多いのが、道路脇の生活ごみのポイ捨てで、タイヤやテレビ、冷蔵庫などの廃棄物の投棄も多く見られます。バブルの一時期より減っているとはいえ、なくならないこと自体が問題です。



産業廃棄物もあちこちに見られます

また、直接役場に寄せられる苦情も年間数十件を超え、調査の結果、元の所有者が判るものは必ず撤去してもらっています。とにかくいたちこっこのようなもので大変です。

山が泣いている

里山は気持ちのいいところです。特に、新緑の頃や山野草が咲き乱れる時期は山に入るだけですすがすがしい気分になります。

しかし、そこにごみの山があったり、可憐な野花や山菜が根こそぎとられている現場に出くわしたらそんな気分も吹っ飛んでしまいます。何よりも山が泣いています。

粗大ごみなどの不法投棄の多くは、意外にも地元を含めた近隣市町村からのものが多いようです。

川西町の、いやこの地域のふところともいえるこの里山を美しい状態で次世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの使命でもあります。一人ひとりがそうした自覚を持つとともに、地域ぐるみでこうした問題に取り組む時期に来ているのかもしれません。



子どもたちのためにも美しい環境を守っていききたいものです

真剣に考えよう 合併について

その九

これまで、市町村合併問題について、アンケート調査や地区別の懇談会で住民の皆様のお気持ちを伺ってまいりました。

今後は町内の各種団体の皆様と分野別の懇談を予定しています。また、このほど住民の視点で市町村合併問題を調査研究する住民組織が誕生しました。

合併豆知識

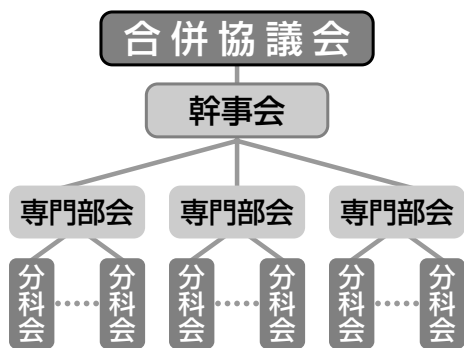
今月号では、新聞等で市町村合併の話題が掲載されたときによく使用される用語を紹介します。

Q 合併市町村と合併関係市町村

『合併市町村』とは、これから合併をしようとしている市町村ではなく、合併によりできた新しい市町村のことです。例えば、A町とB町が合併して新たにC市を置く新設合併の場合には、『合併市町村』はC市、『合併関係市町村』はA町及びB町となります。

Q 『合併協議会』って何？

合併協議会とは、合併関係市町村が、合併の是非（する・しないの判断）も含めて、合併にかかるあらゆる事項を調査・研究する場です。また、関係する



別表1 平成14年6月17日現在（新潟県市町村合併支援課資料）

	任意合併協議会（任意協）	法定合併協議会（法定協）
議会の議決	必要なし	必要
構成員	合併関係市町村の長・議会議員・その他職員・学識経験者等。 また、必要に応じ、具体的な検討を行うため、専門部会や分科会等の下部組織を構成します	
主な検討事項	合併における事前協議等	合併市町村の将来構想等
新潟県内における設置状況	岩船地域【新発田地域】 新潟県東蒲原地域 中央地域西蒲南部地域 【北魚沼地域】 東頸城地域上越地域 【佐渡地域】	【北蒲原郡南部郷地域】 （安田町・京ヶ瀬村・水原町・笹神村）

別表2 協議会での検討・協議内容

任意合併協議会（任意協）	法定合併協議会（法定協）
【現況の把握】 歴史的沿革、人口等の現況、地勢等 【社会生活の状況の把握】 通勤・通学圏、商圈、医療圏、交通アクセスの状況 【行政制度の状況の把握】 市町村行政組織機構、行政委員会、事務の共同処理の状況、財政の状況、公共施設の整備状況、市町村税率、使用料・手数料などを調査します	【市町村建設計画】 合併後の市町村が将来進むべき方向やそれに基づく具体的な事業計画を定めるものです。 【合併協定の協議】 合併の方式（新設又は編入） 合併の期日 合併市町村の名称 合併市町村の事務所の位置

係市町村で規約を作成し、それぞれの議会の議決を経て設置する協議会です。
協議会で検討・協議される内容は、別表2をご覧ください。

●「ポイント」

① 合併協議会の設置及び加入は、市町村合併を前提にするものではなく、各市町村の状況を分析し、合併の可能性を調査・研究する場です。したがって、

将来のまちづくりを各市町村が単独できると判断した場合や、合併することが不利と判断した場合も可能です。

② 合併することによるメリット・デメリットを詳しく調査・研究するためには、合併協議会に加入し、関係市町村の状況を把握することもひとつの方法として考えられます。

③ 仮に合併する方が有利と判断した場合は、この合併協議会で新しい市町村のまちづくりを検討していくことになります。

④ 十日町広域圏六市町村（十日町市・川西町・津南町・中里村・松代町・松之山町）では、年内のできるだけ早い時期に任意合併協議会の発足をめざしています。

Q 『合併重点支援地域』って何？

「合併重点支援地域」とは、具体的な合併協議が進められている地域に対して、新潟県が合併に向けた取組みを支援するために指定する地域のことです。この指定を受けることにより、国の合併支援プランの活用や、県単独の公共事業の優先実施、重点的広報などの支援を受けることができます。

Q 『市町村建設計画』って何？

『市町村建設計画』とは、合

併後の市町村のまちづくりを効果的に推進することを目的に立案される計画のことです。例えば、①合併市町村のまちづくりの基本的方針、②合併市町村のまちづくりの主体となる事業に関する事項、③公共的施設の統合整備に関する事項、④合併市町村の財政計画などが計画の中へ盛り込まれます。ただし、この計画は真に合併市町村のまちづくりに資する事業を選定し、合理的で健全な財政運営に裏付けられた着実な計画とすべきとされています。

合併検討のこれまで・これから

▼六月十日（川西町商工会館）
川西町の商工会会員と田口町長とで懇談会を開催しました。行政側から市町村合併問題の概要説明がされ、活発な意見交換が行われました。

▼六月十七日（川西町活性化センター）
川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）が発足し、会長に藤巻義明さん（塩辛）、副会長に内山智恵子さん（下平新田）が選出されました。詳細は「身近なあれこれ欄」をご覧ください。

▼六月二十七日（十日町市）
十日町広域圏六市町村合併問題研究懇談会の第二回の会合が

開催され、任意合併協議会の設立時期について論議されました。また、今回の会合からは各市町村の議長の出席を要請することになりました。

▼七月九日

役場職員で組織する『庁内市町村合併研究会』が、合併協議が進んでいる堀之内町（北魚）と、合併問題に独自の見解を持っている「加茂市」に伺い、合併問題に対する取組み手法について研修してきました。

▼七月十日（川西町活性化センター）
社会福祉協議会との懇談会

▼七月十一日（川西町活性化センター）
第二回川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）

▼八月五日（川西町活性化センター）
第三回川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）



市町村合併問題検討委員会初会議の様子

身近なあれこれ

今月号で紹介予定だった五十歳代から晩年までの六市町村の身近な行政サービスや助成制度を比較するコーナーはお休みし、六月十七日に誕生した『川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）』について、ご紹介します。

合併問題を考える住民組織誕生

市町村合併は、地域の将来や住民生活に非常に大きな影響を及ぼすことが予想されますので、合併問題を考えるときに、町行政と議会のみならず、地域住民による視点で調査・研究を実施することも大変重要なことです。

そこで、町内の各界各層の住民の方で地域活動を積極的に実践されている方々からお集まりをいただき、このたび『川西町市町村合併問題検討委員会（委員十八名）』を設置いたしました。今後、合併問題における疑問点や、行政サービスの点検・検討など、自由な雰囲気の中で意見交換を進めていきたいと思っています。

選出構成

地域、年代が概ね均一になる

ようにし、各種地域活動を実践されている方に委員への就任をお願いしました。

役割

地域住民の視点で、合併問題について積極的な意見交換を行います。

位置付け

この委員会は、住民の立場で自由な意見交換を行う場です。で、この委員会が住民の意向として、市町村合併の是非（する・しないの判断）を決定するものではありません。

今後の活動計画

合併問題を身近な認識として捉えるため、第2回、第3回の委員会では、研修を主体とした内容で開催し、以降の委員会からテーマを決めて意見交換を実施していきます。

お知らせ

先月号の身近なあれこれ欄の水道使用料金の比較について、説明を補足します。

〈別表6〉川西町の加入金については、給水等の権利金と、本管等から宅地内の最初の止水弁までの工事費も含まれます。

市町村合併についての疑問、質問、意見等がありましたら、文書にて（はがきでも封書でも可・様式自由）左記までお寄せください。本紙に掲載する必要がある場合は、紙上にて紹介・回答します。

●お問い合わせ先

〒九四八〇一九二 川西町役場総務課 市町村合併担当
☎68-3111（内線302）

川西町市町村合併問題検討委員会名簿（敬称略）

地区	氏名	町内名
千手	高橋 徹	南台
	柄澤 和久	沖立
	押木 茂樹	霜条
	南雲 隆	木島
	柳田 紀一	山野田
	北村 典子	山野田
上野	渡貫 文人	上野
	押木 和之	元町
	小島 伸子	新町新田
橘	内山 智恵子	下平新田
	山口 博永	仁田
	藤巻 義明	塩辛
	高津 富士男	寺ヶ崎
	木村 まどか	塩辛
	村越 由喜	野口
仙田	長谷川 東	赤谷
	押木 篤美	田戸
	金子 ヒロ子	岩瀬

仙田農村公園のつり橋 「河童の吊橋」と決まる

国道 252 号沿いの仙田農村公園（仙田体験交流館西側）に架橋が進んでいた吊橋工事（橋長 60 ㍎、総工事費 8,780 万円）が 6 月いっぱいまで完成しました。

本紙 3 月号で吊橋名を募集したところ、17 件の応募をいただきました。町の三役と、仙田体験交流館管理組合の役員で審査したところ、中仙田の小林元一さんが応募された「河童橋」をもとに、「河童の吊橋」に決まりました。

実際に吊橋を渡ることができるのは、10 月上旬に吊橋の右岸（赤谷側）、左岸（中仙田側）の公園整備工事が終わり、10 月 26 日（土）に予定している渡り初め式が終了してからになります。

吊橋を見た方々から、「どうしてさびた材料を使ったのか？」「塗装はしないのか？」といった質問をいただきましたので、吊橋の材料のことを工事の担当者に聞いてみました。

「吊橋の兩岸にある大きな柱や橋げたは、耐候性鋼材という材料をそのまま無塗装で使っています。

これは、初め普通の鉄と同じようにさびが出ます。ところが、鉄に含まれている合金元素の働きによって、年月の経過とともに、鉄の表面に膜（安定さび）が作られて、鋼材の腐食を阻止する特性をもっています。さびが鋼材を守るため、塗装費用もかからず、メンテナンス面で経済的な鋼材です。

こげ茶色の安定さびが、鋼材全体を被うまでには 3 年から 5 年ほどの期間が必要といわれています」ということでした。

渋海川に架かる「河童の吊橋」。仙田に名所がまたひとつ増えました。

なぜ、「河童の吊橋」なのかは、秋の渡り初めで明かされるようです。



さび色も鮮やか？な吊橋

奈良県川西町のみなさん いらっしゃい！ 九月に町民劇団「コスモス」 の公演決定！

ネットかわにし（全国川西会議）交流の一環で、九月十五日（日）に奈良県川西町の町民劇団「コスモス」のみなさんが演劇公演のために来町します。

これは、平成十一年に当町のスーパー素人劇団「かわにし夢きやらばん」のみなさんが奈良県川西町に招かれて演劇公演をしたことがきっかけとなり、その相互交流として実施されるものです。演目は「ぼたん雪」というオリジナルで、昭和三十年代の奈良県川西村（当時）を舞台に、特産の貝ボタン商店の人間模様を描きます。

六月二十日、奈良県川西町のみなさんを迎え入れるための実行委員会が立ち上がりしました。同会は、かわにし夢きやらばんのみなさんを中心に、役場総務課、教育委員会のスタッフで相互に連携しながら受け入れ準備を進めていくことになりました。

実行委員会の代表に選出された、関口昌生さん（かわにし夢きやらばん代表）は、「気持ちよくお迎えしたいと思います。できれば、もっとたくさんの人たちから関わってもらいたいですね」と、早くも実行委員会への参加を呼びかけていました。

この実行委員会への参加（ボランティア）を希望される方は、役場総務課（☎ 68-3111）までお申し出ください。お待ちしております。



会議では受け入れ体制などについて話し合われました

街路灯をいただきました

6 月 11 日、東北電力㈱十日町営業所（中條一所長）から、町に街路灯が八灯寄贈されました。

これは、同社の地域貢献のひとつとして毎年行われているものです。

町では、各地区の要望などをとりまとめながら設置場所を検討しているところですが、必要度の高い下原、根深などに設置する予定です。



中條所長から目録を受ける田口町長

女性のみの グループホーム オープン

六月六日、社会福祉法人あかね会グループホーム「やまゆり」の開所式がありました。

このグループホームは、地域社会の中にある住宅で、障害をもつ人たちが共同生活をし、社会参加することを目的としています。

利用者代表の小林米子さんから、「これから地域のみなさんにはお世話になります。よろしくお願いします」とあいさつがありました。

「やまゆり」は、国の重要文化財星名家住宅前の住宅をお借りし、六月一日から生活をスタート。四人の利用者と二人の世話人で協力しながら楽しい生活を送っています。



渡辺理事長（右）と根津収入役による表札掲示

みんなで育てよう！

6月26日、町道新町新田中学校線沿いに上野小の全校児童による花植えがありました。

サルビアとマーガレットプチハートの苗、合わせて250株が用意され、慣れない作業に奮闘する下級生に対し、「俺が見てやる」という上級生の思いやりを実感する場面もありました。

これからは、上野交差点付近に植えられたダリヤの芽摘みや草取りなど、地域全体で花を育てる活動が広がりそうです。



「ミミズがいた！」「これでいいのー？」と作業は賑やか

健在！ まだ一〇一歳

六月五日（水）室島の高橋惣治さんが一〇一歳の誕生日を迎え、町から花束が贈られました。

この日のために自分で頭を刈ったという高橋さんのことをご家族は、「寝起きはたんすにつけた紐を引っ張って起き上がる。できることは何でも自分でやらせらんだ」と話します。

最近、近所の人に「あと三年は生きるぞ」と宣言したという高橋さん。「やっぱりあつついご飯に味噌汁が一番いいの。ワッハッハ」と相変わらずお元気なようでした。



お気に入りの一点「この雨が浜海の波の音となり、稲の穂る基となる」

「エンジン全開!?」 川西野球部

チームアップ
役場 No.15



声をかけ合う川西ナイン。30番の背中はバテギミ？

円陣を組み、気合いを入れる若手職員。オリンピック野球の日本代表チームと同じユニホームをまとい、いかにも強そう？な雰囲気をもっと出していきます。

これは、中魚沼郡町村職員親善野球大会のひとつ。我が川西町と津南町、中里村の三チームによる総当たりの戦いが行われました。

真夏並みの天候の中、選手は体力の限界まで頑張りました。体は重く、足がもつれそうにな

りながらも盗塁を決め（「無理するな！」の声）、暑さに耐え（異常に吹き出る汗）、寂しくなる口（水よりたばこ）を我慢しながら…。

結局、接戦を勝ち抜いたのは津南町。惜しくも我が町は二位に終わりましたが、チームワークではダントツの一位でした。試合の後は、一緒に汗を流した者同士、親睦を深めました。夜の部ですか？試合以上に全力投球していなければいいのです。

あなたの話題

わたしのニュース



贅沢なホール 千年の森

《沢口マツ江さん（上野）発》

六月二日の「千年の森コンサート」に参加しました。

毎年この催しを楽しみにしています。実行委員会のみなさん、今年もすばらしいひとときをありがとうございました。

少し気取って、空調や音響設備の整ったコンサートホールで聴くのも良いのですが、ブナ林の中に居ながらにして、それも普段着のままでトップアーティスト（今年は宗次郎）の生演奏を聴ける贅沢さは、ホールでの演奏会では決して

味わえないものです。たゆとう風に調べをのせてしばし楽堂 千年の森



1,500 人も観客が詰めかけた今年の「千年の森コンサート」。出演は宗次郎

遊びも学びの農園祭

《金子寛子さん（岩瀬）発》

六月九日、岩瀬体験農園の「農園祭」が行われました。

岩瀬集落では、毎年六月にこの催しを行っていて、今年は大人子ども合わせて二五人が参加しました。

晴天の中、大豆の畑づくり、さつまいも植え、花植え体験を



どうだ、まっすぐできたか

行いました。中には「畑を耕すなんてヤダ!」と言う子どもたちもいましたが、高学年の子どもたちがやっているのを見習って「やってみる」と、結局全員参加してくれました。

大人（日頃から農業をやっているプロ）も数人が混じって自分の子どもだけでなくみんなにクワの使い方などを教えている姿が印象的でした。こうした生の体験が学びを深くしてくれるのですね。

子どもたちは、作業が終わると「待ってました」とばかりに広い大地を遊び回りました。まだまだ作業より遊びですが、その遊びの中からいろんなことを体験し、学んでほしいと思います。

川西拳士の活躍に期待してください

《入田仁さん（十日町市吉田空手教室）発》

六月十六日、五泉市総合体育館において、第一八回新潟県少

年少女空手道選手権大会が、県下から延べ一、三〇〇人の小学生選手が参加して開催されました。



左から田辺貴大君、高橋寛行君、田辺沙季さん、高橋諒丞君

川西町から参加した選手のうち、千手小の田辺貴大君が五年男子形の部で優勝を果たしました。田辺君は昨年四年生でも同種目で優勝しており、堂々の二連覇達成です。また、一年男子形の部でも同校の高橋寛行君が準優勝に、二年女子形の部では田辺沙季さんが三位に輝きました。

この結果、田辺貴大君と、高橋寛行君が新潟県代表選手として八月四日（日）東京武道館にて開催される第二回全日本少年少女空手道選手権大会に出場します。

川西拳士たちの全国大会における健闘を期待し、皆様の暖かい声援をどうぞよろしくお願いいたします。

米米フォーラムのホストファミリーになりました

《押木敦子さん（元町） 発》

五月に行われた「地球環境米米フォーラム」で、各国の大使館関係者のホームステイを受け入れるホストファミリーになり、ベネズエラ共和国のみなさんをお迎えしました。

ベネズエラ共和国は、カリブ海に面し、アンデス山脈を背負う雄大な自然と整備された都市を持つ、生き生きとした未来を感じさせる南米らしい力に満ちた国です。首都カラカスは赤道に近いにもかかわらず、標高が一、〇〇〇メートルもあるため、年間を通じて気温二十度くらいで住みやすい環境のようです。そんな遠くの国の方を我が家に迎えることになりました。

我が家に滞在したシャロン・マンノさん、石川成幸さん（日系二世）との出会いは、まさに「二期一会」でした。私たちにと



ベネズエラ共和国の首都カラカス

って生涯大切な家族が増えました。久しぶりに帰ってきた家族と再会したようでとてもいい雰囲気でした。二人とも日本語がとても堪能です。滞在中にいろ



押木さんの家にホームステイした2人（手前）

水面に映るアジサイを楽しみませんか

《羽鳥力夫さん（伊友） 発》

月見が原公園のアジサイが見頃になっています。

この時期になると、そこかしこにアジサイの花が咲いて目を楽しませてくれますが、ここのアジサイは特別です。

咲いた花をそのまま見るのももちろんですが、池に映った花を楽しむのも格別の風情があります。ぜひ水面に映る美しい花を觀賞しに来てください。



花が2通り楽しめます

いろな話をしました。シャロンは、日本語を覚えるために半年間日本語だけの生活を送り、夢までもが日本語だったそうです。また、自国ではラム酒という強いお酒を飲んで入った感じが、地酒をとてにも気に入ってしまいました。でも、飲んだ後、次の日に二日酔いにならないように同じ量の水を飲みます。本当に頭が下がるばかりです。我が家では、毎日ベネズエラについての会話が弾み、いずれは行ってみたいと計画しています。二人はいつか自国に帰ってしまいましたが、私たちのことをいつまでも忘れないでほしいと願いつつ、すばらしい出会いに心から感謝しています。

だんだんとーモ！ ⑪

「文化と福祉のお寺」の巻

「開かれた寺にしたいんですよ」。開口一番、西永寺第二十世の渡辺道哉さん（62・上野）は、お寺を開放した福祉事業や文化事業に取り組む理由をこう語ってくれました。

西永寺は、寺伝によれば約七〇〇年前に現在の寺ヶ崎に創建され、上杉謙信の時代、上野氏によって上野の地に移されたといわれています。天保六年（一八三五）、村祭りの花火の不



か、第一回大地の芸術祭の作品設置場所に本堂を提供したりコンサートや寄席など文化活動の会場に開放したりして地域に喜ばれています。

また、「お年寄りを孤独にさせたくない」と、平成十年から生きたい活動支援事業「ひだまりの家」に建物の一部を開放しています。

「すべては、親しみのあるお寺にしたい」という思いから、奥さんのサチ子さんも、「お寺は明るいところ、というイメージにしたんです」と、近所の女性たちを対象にお茶の指導をして一緒にボランティア活動を実践しています。

「でもちょっと明るすぎるかしら……」「それは、わしがどこへでも首をつっこむからか」（笑）。くったくのないお二人の笑顔が、いろんな人たちを惹きつけて止まない最大の理由のようです。

再建一五〇周年記念事業で編集した記念誌が、昨年新潟県出版文化賞記録部門賞に輝いたほ

第2回に向けて作品制作本格稼働開始

〈中里村・松之山町編〉



中里村重地集落でのワークショップの様子

来年開催される大地の芸術祭に向けて作品制作や住民説明会が始まっています。作品制作は今年の夏から徐々に姿を現していきます。

今号では中里村と松之山町の動きの一部をご紹介します。

中里村

昨年の公募候補地だった重地集落では、公募の当選作家山田良・綾子夫妻による材料集めが住民と協力しながら始まっています。

山田夫妻の作品プランは「Nature, Nature」というタイトルで、道路脇のポケットパークに色のついた格子を敷き、草花の伸びる状況によって四季の变化を際立たせようという作品です。

山田夫妻は頻繁に現地を訪れています。三月には住民や子供たちを交えてワークショップも開かれ、地域との交流を重ねています。

第一回芸術祭のとき十日町市で作品展開したオーストラリアの作家で、現在ニューキャッスル大学の美術学部長であるアン・グラハムさんの作品は、中里村田代の七ツ釜に作品設置が予定されています。七ツ釜の大蛇伝説にヒントを得て、虹色のへびが世界を作ったというオーストラリア先住民の伝説をモザイクタイトルで再現します。

この作品の説明会が先

月二十一日に中里村ユーマールで行われ、約五〇人の住民の方々が参加しました。既に地元・田代集落で二回の住民説明会が開かれています。制作の際、住民やオーストラリアの学生、東京のボランティアなど数百人という多くの方々から参加して欲しいという考えでの説明会となりました。

作品制作に興味のある方は中里村企画観光課までお問い合わせください。

倉俣集落ではフィンランドのカサ格蘭デ&リントーラ（二人組）が釜側橋の近くに自然・農業・工業をテーマに公園を作る予定で地元説明会を行っています。

松之山町

池尻交差点の脇にはオランダのジョン・クルメリングさんが、案内看板を兼ねた二〇メートルにも及ぶ巨大な塔を建設します。塔にはらせん階段がついていて途中に四つの展望スペースが設けられています。案内看板の文字は広告業界の第一線で活躍し、トンパ文字を日本に紹介したことで知られるデザイナーの浅葉克己さんがデザインしています。

美人林の近くに建てられる松之山自然科学館「森の学校」

（仮称）は来春のオープンを目指して工事が着々とすすんでいますが、この建物と一体となつて五人の作家の作品が設置されます。

高さ三〇メートルのタワーの内部には、宇宙線を感じると光る数千個の発光ダイオードが張り巡らされ、参観者が移動しながら宇宙を体感できるという逢坂卓郎さんの作品が設置されます。

庄野泰子さんはタワーの底部に設置された貯水井戸へ湧水が滴下する音を体感するという作品を設置します。

遠藤利克さんは地下に埋設された大量の水の存在を思考で感じ取る作品です。現在巨大な地下水層が掘られています。

第一回の芸術祭ではさ木を再現した川俣正さんは、「ワークインプログレス」という継続するプロジェクトの中で、これまでの作品につながる遊歩道とサンデッキを建物に付設します。

第一回の芸術祭にも参加した笠原由紀子さんは、「メタモルフォーゼー場の記憶」という作品で我々が普段からたくさん生の形の中にいて、繰り返される生と死の姿を体感する作品を設置します。

沖立村の大けやき

「沖立の米はウマイ、日本一の米だ」といわれてきた。

稲の栽培技術が低く、特別な肥料もしなかった時代は、米質が粗悪だった。土質が悪く水利も不十分で、近世末期までの当地方での米質は最下級と見られていた。長岡・柏崎相場に比べて、問題にならぬ低価格に抑えられた。

領主にあげる貢納物（いまの税金）の一番として差し出すのが、生産者として絶対の義務であった。

舟に積んでようやく新潟港まで送った貢米であるのに、受け取り役人の検査で不合格となり、大慌てで蒲原の余り米を探して買い込み、やっとのことで代替納入してきたという記録が、沖立の古文書にある。それも、一回や二回のことではない。一反歩（一〇アール）から、せいぜい三、四俵しか収穫できなかった時代のことである。

沖立のムラは、下島から始まったという。三、四戸が定着し、やがて五、六戸となり、ムラの形ができた。

花園天皇のころだという話もあり、そのころの年代では、応長元年（一一三一）の板碑が伊勢平治で発見されているから、話が合う。今から七〇〇年くら

い前のことになろう。

下島は、信濃川が直接ぶつかるようなところで、上草島・下草島・島・川敷・沖島・大瀬など、水の流れに結びつく地名がたつらなっていた。沖島・草島などは、相当な耕地が開かれていたという話を古老が教えてくれたけれども、いまは信濃川の流に没している。

中州には、対岸の十日町市中央からも出作りしてムラが出来ていた。洪水に押されて、これらのムラは移転し、沖立も現在の位置にあがって落ち着いた。

おらムラの話

（第十五回）

上野 上村政基

沖島に黒島村があった。天和三年の検地帳に、一戸・三名（男一・女二）の記載があるのが最後で、沖立村に吸収された。



良質米を産出する下島の耕地

住民は、それ以前から中条村や伊勢平治などに移っていた。

長年の水害に悩んだが、毎年のことのように堤防工事が懸命に繰り返され、信濃川本流が東側に近寄ったことで被害が少なくなり、また昭和初年からの千手発電工事に併せて堤防も強化され、下島の耕地がようやく安定した。洪水で押してきた砂泥が肥料効果を増して、沖立の米はウマイという評判が高くなった。

昭和初年まで、個人で祀った神社があった。何の神様だか知ら

らないといわれていたが、他処の例からみて、天照皇大神を祀る水害除けを祈るものであったことに間違いなさであろう。別に、下島の堤防近くに水難除けの石祠があり、水神様と呼ばれている。

現在の集落中央あたりに、越後一という大きなけやきがあり、周囲が三丈二尺（九・七メートル）もあった。一段高いところにウロ（穴）があつて、子どもたちは梯子を掛けて上がり、九尺ムシロを敷いて遊んだものと、古老たちが懐かしんでいた。

この大木があるので、「おおきだち大木立」が沖立の地名になったといわれたが、ムラの成り立ちから考えて、沖の方（原の向こうの方）にできた村という呼び名が、理屈に合う。

枝張りが高く、枝に積もった雪が落ちて民家の屋根を傷めたり、いろいろな危険が考えられるので、やむを得ず明治三十四年に切り倒した。年輪を見て、八〇〇年くらいの樹齢ともいわれ、立派な霊木碑を立てて記念にしている。



集落の中央部に立つ霊木碑

いまは西方の山麓にある曹洞宗長福寺は、最初沖立に建立されたという。現在の共同墓地のあたりで、昔は寺屋敷地名があったと伝える。長福寺は、応永十五年（一四〇八）の開山と寺伝するから、足利氏の室町幕府時代ということになる。

正保二年（一六四五）絵図に、松平光長領として沖立村二四石余の高が載り、延宝七年（一六七九）改高も同様である。しかし、その後川荒れなどで耕地を多く失ったらしく、天和三年（一六八三）検地帳では一四六石余と激減している。元

禄七年（一六九四）改村鑑には、一六戸・一一八人（男六九・女四九）・馬一六匹とある。

黒島村は、延宝七年に三八石余であったものの、天和三年には僅かに田が三畝足らずに青茅畑三畝ばかり、荒地八畝で、高はわずか三斗余となっていた。

稲葉村との反目

昔から、村ごとに入会山いりあいやまを持っていた。年中使用する薪まきや秣まぐさ（牛馬の飼料）・刈干かりほし（肥料用の草）などを採る、大切な共同山である。

沖立村の入会山は、西山の延命寺・漆山などで、南隣は稲葉村に接していた。境界が明確でなかったのか、両村の間でしばしば争いがあった。そして、元禄二年（一六八九）には大騒動が起こった。

沖立村の刈り取ったものを、稲葉村の若者たちが奪い取り、双方で暴力行動に発展した。怪我はもとより、瀕死の重傷者も出て、近隣村々の仲裁も空しく、代官所役人の出張裁判にもなった。

これらの調停に、両村とも不承知のままお互いの反目は続き、行政的な交渉も断り、嫁婿のやりとりも禁じてきた。昭和三十一年になってようやく和解が成り立ち、新夫婦の婚儀が実現した。

新潟県交通遺児基金を ご存知ですか？

当基金では、交通事故で、保護者が死亡もしくは重度の後遺障害を受けた児童・生徒を激励し、経済的な援助を行っております。

- ①十八歳以下で交通遺児等になった方に見舞一時金を給付します
- ②小学校及び中学校の入学祝金、中学校の卒業祝金を給付します
- ③小学校、中学校及び高等学校に在学する交通遺児等に図書券を贈呈します
- ④交通遺児等及びその家族の交流レクリエーション事業を実施しています
- 問い合わせ 教育委員会学校教育課（☎68—2167）

国がさしあげる援助の手

自動車事故対策センターでは自動車事故被害者を救済するために次のような制度があります。

交通遺児に育成資金を 無利子でお貸しします

自動車事故で保護者が亡くなられたり、重度の後遺障害者に

なられた家庭に対して、残された児童を健やかに育成するために、国の資金を無利子でお貸しします。

■利用できる方 ○歳から中学校卒業までの子本人で、貸付申込者は、その子を扶養している保護者

■貸付金額

- ・はじめに一時金 一五五、〇〇〇円
- ・中学校卒業まで毎月 二〇、〇〇〇円
- ・小中学校入学支度金 四四、〇〇〇円

■返還方法 月賦・月賦と半月賦の併用から選択による均等払い

■返還期間 中学校卒業後、一年据え置いてから二十年内。高校・大学等に進学された場合、在学期間は、返還を猶予できます。

重度後遺障害者に 介護料を支給します

自動車事故により脳や脊髄に重い障害を受け、介護を必要とする重度後遺障害者を抱える家族の精神的・肉体的・経済的負担の軽減を図るため、介護料を支給しています。

■支給対象者

・特I種受給資格者（最重度）
常時の介護を必要とする方

（自賠責保険後遺障害へ以下省略）等級一級認定者及び担当者のうち最重度の方

・I種受給資格者

常時の介護を必要とする方（等級一級認定者及び担当者のうち、「特I種」を除いた方

・II種受給資格者

随時の介護を必要とする方（等級二級認定者及び担当者）

■支給金額 介護料は月賦で支給。ただし、介護に要する費用の負担に応じて上限額までの範囲で支給。

＜支給金額＞

①常時の介護が必要な方のうち、「重度後遺障害診断書」で症状が「最重度」と認められた方	68,440 円～ 136,880 円
②①以外の常時の介護が必要な方	58,570 円～ 108,000 円
③随時の介護が必要な方	29,290 円～ 54,000 円
④「短期入院」にかかる費用については、①～③とは別枠でその費用を助成	

■育成資金・介護料の支給に関する申し込み・問い合わせは、自動車事故対策センター新潟主管支所（☎025—283—1141）へお気軽にご相談ください。

相 談

交通事故相談

決して他人ごとではない交通事故。毎日どこかで悲惨な交通事故が発生しています。

不幸にして交通事故に遭われ、お困りの方は、まず県の交通事故相談所に相談してください

お宅にある 古い写真を お貸しください

町では今、「二〇〇二年版町勢要覧」の作成を進めています。今回の要覧は、等身大の町を記録するという観点から、生活環境や町の中・長期ビジョンな



千手の中央通り（昭和初期頃）

い。相談は無料で、プライバシーは保護されます。

■実施日時 月曜～金曜（祝日・年末年始は休み）

■会場 新潟県長岡交通事故相談所（長岡総合庁舎一階）

■相談時間／電話番号 午前九時～午後四時／☎0258—38—2665

■その他 面接相談は要予約

どをわかりやすく表現するほか、川西町の歩みを写真と文でまとめることとしました。

「写真で見える川西町の今昔」として、古い川西町の姿と今の姿を比較しながら未来の町の姿を考えようとするものです。

そのコーナーに掲載する次のような「古い写真」を探しています。お宅の書棚やアルバムに眠っている古い写真がありません。たらお貸しいただくと幸いです。

○古い町並みや集落

○農作業や工事

○その他今と違う風景や催し など

●お問い合わせ・ご提供先

役場総務課文書広報係

（☎68—3111内305）

※なお、お貸しいただいた写真すべてが掲載されるとは限りません。

本気のあなたが欲しい!
(町職員募集)

一般事務(初級) 若干名採用の予定

■申込受付 7月30日(火)まで
(郵送消印は7月30日まで)

試験と作文試験及び事務適性検査を行います。

携行品 受験票、HB鉛筆、消しゴムなど。ボールペンや万年筆使用は無効

合格発表 十月中旬

2 二次試験

試験日 十一月上旬

(一次試験合格者に別途通知)

試験場 川西町地域活性化センター

方法 面接試験

【採用日】

平成十五年四月一日

【受験手続き】

申込書の請求先 役場総務課行政係

【申込書の提出】

受験申込書に必要事項を記入押印。写真(縦4cm×横3cm無帽・正面上半身)一枚をはり、ほかに二枚を添えて役場行政係へ。

【申込書の受付期間】

七月三十日まで(郵送の場合、消印は七月三十日まで有効)

【問い合わせ先】

役場総務課行政係

☎68-3111

【試験の方法】

高校卒業程度の内容で、地方公務員として必要な一般的知識と知能について、択一式の筆記



◆議会報告◆

六月二十四日から始まった第二回川西町議会定例会は、二十五日に全日程を終え、閉会しました。

二十四日は、諸般の報告、行政報告のあと六件の町政に対する一般質問が行われました。

二十五日は、「川西町税条例の一部を改正する条例」ほか二件の専決処分した事件が承認されたあと、「川西町附属機関設置条例の一部を改正する条例」ほか二件の条例改正と三件の規約変更が原案どおり可決され、「平成十四年度川西町一般会計補正予算(第一号)」ほか四件の補正予算が原案のとおり可決されました。

続いて、「川西町固定資産評価審査委員会委員の選任」についての同意投票が行われ、小海邦男さんの選任が同意されました。

次に、「川西町議会の議員の定数を定める条例制定」ほか六件の発議案が原案のとおり可決されました。

なお、議会の模様は七月二十日発行の「議会だより」の中で詳しく紹介されますので、ご覧ください。

在宅介護 無理なく快適に

川西町で介護保険の要支援・要介護の認定を受けている方は、五月末日現在二八〇人です。そのうち在宅で介護を受けている方は、一四六人います。

日本は先進諸国の中でも寝たきりの人が多く、年をとれば寝たきりになるのは仕方がないという諦めがあります。しかし、寝たきりを予防したり、寝たきりになつた人を起こすことは十分可能です。



そして、在宅介護をするにあたって心掛けたいのが、要介護の高齢者がいることを隣近所に話して、介護をオーブンにするということ。例えば、痴呆で徘徊のある高齢者の場合、ほんのちよつとしたすきに家を出てしまい、あつという間に姿が見えなくなることは珍しくありません。そのような場合でも、近所の人が、徘徊の癖があると知っていれば、姿を見かけた時に知らせてくれます。

また、昼間は寝巻きでなく着替えて、居間で過ごすこと

また、介護保険のサービスや保健・福祉のサービスなどを上手に利用して、介護を無理なく行いましょう。

休日救急医

7月20日	大坪医院 (十日町市四日町新田) ☎57-6100
21日	田中外科医院 (十日町市田中町本通) ☎52-2403
〃	津南病院 (津南町大割野) ☎65-3161
28日	たかき医院 (十日町市土市第5) ☎58-2361
8月4日	本町クリニック (十日町市本町3) ☎50-1160
11日	小林内科医院 (十日町市中条中町) ☎52-7155
18日	富田医院 (川西町発電所通西) ☎61-0200

■表紙の写真

川西町の野に咲く花たちです。
日陰を好む花も日向に合う花も、梅雨空の合間をぬって差し込む陽の光を浴びて精一杯に咲いています。公園や花壇の花のような豪華さはありませんが、自ら生きる力がみなぎっています。
こうした花が身近で見られるのも、ふだんあまり気づかないこの地域の魅力かもしれません。
身近な自然の身近な財産です。
その山野草の咲く環境を、このままずっと守り伝えていきたいものです。

?? クイズです ??

今回の表紙の写真に掲載されている野花の名称を、すべて当ててください。
全種類正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。
おわかりの方は、はがきに「花の名称」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。
●締め切り…7月31日(水)当日消印有効

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

小林	和久	根津	滋野	中條	田中
タキ	関一	廣作	ト秀	ト秀	トヨ
85(義春)	84(音作)	85(廣作)	83(正治)	66(秀二)	81(俊二)
中島町	木落	上野	野口	岩瀬	下原

うぶ声—おすこやかに

五十嵐	畠山	高橋	小海	小海	高橋	根津
惟勇	夏芽	奈々	陽向	拓未	洋人	海里
美幸	悟志	克幸	淳隆	淳隆	克勝	麻里
野口	山野田	学校町	小根岸	小根岸	上町	原田

高砂—ご円満に

佐藤	池田	高橋	村山	高橋	渡辺	長津
宏子	駒子	一弘	英昭	朋子	正範	順子
発電所通り東	十日町市	三領	十日町市	伊友	上野	十日町市

(6月1日—30日届け出順)



かわい俳壇

高崎正風選

盗みたる水に生き生き苗そよく
三人の高原巡り河鹿聞く
俳諧の友に涼しく逢ひにけり
二之膳もまた筍や高野山
宿坊の消灯早し五月闇
宿坊の縁先に竹皮を脱ぐ
上町 高橋 願似

着ぶくれし子や着ぶくれのまま抱く
花の種蒔くや仏の好きな花
うららかや鳩に近づくベビー靴
どくだみの匂ひ軍手を突き抜けぬ
花栗の匂ひ満ちある城跡路
山毛榉芽萌ゆ句碑公園を散策す
見逃しの大きな苺葉のかけに
暖かや百まで生きよと子の電話
出来のよき馬鈴薯なれば友に分け
修学旅行孫行く佐渡の予報聞く
蛙鳴く声に暮れゆく菖蒲園
一病の身にある冷えや梅雨最中
涼しげに峠の见えていて遠し
日本のつばくらしとして飛びたてり
田に畑にしづかに梅雨のはじまりぬ
山路を採りて佃煮母の味
梅雨晴間苺の紅の目にしみる
青空の见えて夕立きたりける
百合の花置いて明るき店舗かな
元町 田畑 吉治

寸評

・二之膳も——高野山の宿坊での食事の一の膳と二の膳にも「筍料理」が付いたのである。筍の盛りの頃の旅のひとつコマである。
・日本の——燕の旅立ちである。日本で生まれ育った燕であれば、まさしく「日本の燕」なのである。

朝顔の花のほぐれる夜明けかな
粽結う屈託もなき村に住み
棚田守る夫婦に蜚うまれけり
掛軸の朝に紐解く梅雨晴間
桑の実や学校の蚕は繭となり
雑草を伸ばし伸ばして梅雨明けける
甘えんぼうと言うとうきびのよく育つ
よく熟れし苺を口にもぎ初む
習わしの田植え休みのちまきかな
七夕の飾りに集うつぶらな眼
小白倉 田中 優美

正風



▲「たいしょうになったしっぽり」
3年生 小山 えりな さん



▲「うさぎをさわったよ」
1年生 春日 龍馬 くん



▲「チームワーク」 2年生 共同制作



▲「雨の日のたたかい」
5年生 江口 愛美 さん



▲「孤独なくつ」
6年生 羽鳥 和樹 くん



▲「ハリーポッターを読んで
クィディッチの試合を想像したよ」
4年生 小幡 祐弥 くん

(8月号は仙田小学校です)

④ 違いは知名度。周辺環境を含めた立地やPR、イベントなどの量が圧倒的に違うのでいたしかたないが、人の目に触れる機会が少ないのは残念だ。
ひっそりと懸命に咲いているシヨウブの花をみんなで観賞し、地元から少しずつそのすばらしさを広めていきたいものだ。

シヨウブ・アヤメというところ、新発田市五十公野公園のあやめ園が有名だが、松葉荘のしょうぶ園は、花の種類、規模ともに決してここに見劣りしないものだ。



● 梅雨はうつとうしいが、この時期に咲く花は美しいものが多い。代表格はアジサイだが、シヨウブもこの時期を彩る華やかな花だ。
松葉荘のしょうぶ園が見頃を迎えている。二三種・一万株の花が、谷間の棚田に競いあつて咲き乱れる姿は圧巻だ。管理も行き届いていて気持ちがいい。

